

9/2 (月) 癒しの音色で至福のひと時 弓削中学校等でハープ演奏鑑賞会

アメリカ在住のプロハーピニストの古佐小基史(こさこもとし)さんの演奏会が弓削中学校で開催されました。

アメリカに拠点を置く古佐小さんですが、日本でのコンサートのため来日しており、古佐小さんの旧知の友人で、

研究のため上島町を度々訪れている木下 徹さん(愛媛大学客員研究員)の紹介により、今回の演奏会が実



現しました。この日は、弓削中学校だけでなく、弓削地区の施設やカフェでも演奏会が開催され、普段聞くことのできないプロのハープの音色に癒される至福のひと時を過ごすことができました。



らなかった人とも、話せて色々な意見が聞けて気づきになった。」といった声がありました。

他の地区でも、次の日程でふれあい学習会を行いますので、皆さまお誘い合わせのうえ、ご参加ください。

○魚島地区地域ふれあい学習会 10月19日(土)

○岩城地区地域ふれあい学習会 10月20日(日)



9/7 (土) 「ちがい」は「まちがい」じゃない 弓削地区地域ふれあい学習会

弓削体育館において、地域ふれあい学習会を開催しました。

今回は3年生が現地研修(渋染一揆資料館・長島愛生園)で学んだことの発表、「身元調査お断り運動とは何か」について学習したうえで、「ちがいのちがい」についてワークショップを行い、中学生、保護者、地域の方が一緒に学習しました。身元調査は、たとえ、よい情報であっても決して答えてはいけません。「しない!させない!許さない!」を参加者全員で再認識することができました。学習会をとおして参加者からは「違いを知ること、認めることの大切さを知った。知

せとうち交流館だより

＜メディア室・展示室のご案内＞

● てまり(てまりグループ) ● 絵てがみ(絵てがみグループ)

新着図書 ※入荷次第貸出となりますので、ご了承ください。

題 名	作 者	題 名	作 者
罪と祈り	貫井 徳郎	「大家さんと僕」と僕	矢部 太郎
罪の轍	奥田 英朗	小説 天気の子	新開 誠
落日	湊 かなえ	走れ!高バスケットボール部 9	松崎 洋
あきない世傳 金と銀(七) 碧流篇	高田 郁	眠れなくなるほど面白い 糖質の話	牧田 善二
鯖猫 長屋ふしぎ草紙(七)	田牧 大和	ムゲンのi(上)	知念実希人
オレオレの巣窟	志駕 晃	ムゲンのi(下)	知念実希人
ラストナイト	薬丸 岳	おしりたんてい カレーなるじけん	トロル
最後のページをめくるまで	水生 大海	てんげんつう	畠中 恵
ぼくはイエローでホワイトでちょっとブルー	プレイディみかこ	いつかの岸辺に跳ねていく	加納 朋子
ころべばいいのに	ヨシタケシンスケ	まなの本棚	芦田 愛菜

■ 愛媛県立図書館の図書を借りることができます。受付までお問合せください。
■ 図書のリクエストを受け付けています。
■ 先に一部だけ返却される場合は、貸出期間とお名前を書いた紙を挟んでいただけると助かります。

●問い合わせ せとうち交流館
上島町弓削下弓削 1037-2
☎ 77-2252 ☎ 77-2292

●ご利用案内 開館時間 8:30~17:15

種類	貸 出 限 度	貸出期間
図書	1人5冊まで(うち新着本 2冊)	3週間
DVD	1人3本まで(うち新着DVD 1本)	1週間 新着 DVD 3日間

8/24 25 上島から「火まつり・海まつり」に参加 2019 因島水軍まつり

2019 因島水軍まつりが因島アメニティ公園しまなみビーチで開催され本町からも2つの団体が参加しました。

8月24日(土)には、「火まつり」の中の跳楽舞(ちょうらくまい)はねくらべに岩城小学校児童を中心とした「WAKUWAKU キッズ」が出場し、特別賞(心が一つになったで賞)を受賞しました。

翌日の25日(日)には「海まつり」小早レースに、上島町からは高校生と一般の合同チーム「上島衆」が出場しました。惜しくも予選通過はなりませんでした。力を合わせて最後までゴールを目指して頑張りました。



初参戦した「上島衆」



特別賞を受賞した WAKUWAKU キッズ

8/24 (土) 夏の夜空に歌声響く LOVE & BEAT LIVE! 2019

残暑も和らいだ岩城漁港周辺で、岩城洋楽部主催による恒例の「LOVE & BEAT LIVE!」が開催されました。

今回で23回目となったこの野外音楽イベントでは、商工会青年部等の出店によるビアガーデンが設けられ、6組のバンドによる演奏が行われました。

開始時には過ごしやすかった会場も、中盤から雨風

に見舞われ途中で中止となってしまいましたが、熱心な観客らは最後まで惜しめない拍手を送っていました。



8月 神秘的な花～オオオニバス～ 友愛の水記念公園(弓削)

水面に大きな丸い葉を浮かべるオオオニバスが上島町友愛の水記念公園で毎年花を咲かせています。

この植物のお世話をしてくださっているのは、今治市在住の大澤誠二さん。毎年5月に苗を植え、毎月1回のペースで、来町して、お世話をしてくださっています。大澤さんは、平成12年度から15年度まで、弓削小学校に勤務され、その当時も、学校横に池を作り、児童とともにオオオニバスを育てられました。

その後、上島町から離れ15年以上経った今でも、こうして毎年、オオオニバスの苗植えからお世話に至るまで行っていたいでいます。今年も、何ともいえない甘い香りを漂わせながら花を咲かせ、大きな葉を広げているオオオニバス。わがふるさと上島町のために、ありがとうございます。

皆さん、機会を見つけて友愛の水記念公園の池をのぞいてみませんか。



大澤誠二さん(今治市在住)



開花初日のオオオニバス

オオオニバス(スイレン科)

8月から9月にかけて、約2日間、夜に花を咲かせる神秘的な植物。花の色は1日目は純白、2日目は赤で、3日目には、花は水の中に沈んでしまいます。蕾が水面から立ち上がってきたら、花の咲く合図です。夕方から何ともいえないにおいを漂わせながら花びらが開いていきます。

葉は、直径3mまで成長し、人が乗ることも可能だと言われています。友愛の水記念公園のオオオニバスの葉は、大きいものでも80cmほどしかありませんが、条件が整えば、さらに大きくなると思われます。葉が大きいだけに、強風後には、葉が裏返しになり、痛むことが多いようです。